

会 議 録

| | | | | |
|------------------|---|--|-------------------------------|---------|
| 会議の名称 | 平成30年度 第1回守谷市立学校給食センター運営委員会 | | | |
| 開催日時 | 平成30年11月29日(木) 開会：10時30分 閉会：11時45分 | | | |
| 開催場所 | 学校給食センター 会議室 | | | |
| 事務局(担当課) | 学校給食センター | | | |
| 出席者 | 委員 | 高梨委員, 渡辺大士委員, 鈴木委員, 鴻巣委員, 中村委員, 串田委員, 倉金委員, 戸嶋委員, 小川委員, 井上委員, 田口委員, 金井委員, 永瀬委員(委員長), 古谷委員, 齋藤委員 以上, 出席15名/20名 | | |
| | 事務局 | 町田教育長, 山崎教育部長 坂所長, 新島係長, 黒崎栄養士 以上5名 | | |
| 公開・非公開の状況 | <input checked="" type="checkbox"/> 公開 | <input type="checkbox"/> 非公開 | <input type="checkbox"/> 一部公開 | 傍聴者数 0名 |
| 公開不可の場合 はその理由 | | | | |
| 会議次第 | 1 開会 2 あいさつ(永瀬委員長, 町田教育長) 3 委員及び職員紹介(自己紹介) 4 議事 (1) 平成29年度事業報告 (2) 学校給食センターの改築(建替え)について ① 経緯について ② 基本計画の策定について ③ 食器について (3) 給食費について (4) その他 5 閉会 | | | |
| 確定年月日 | 会議録署名 | | | |
| 平成31年1月10日 | 委員長 永瀬 宗重 | | | |

審 議 経 過

※ 会議録へ発言者の氏名を記載することについて、市は会議で承認を得られた場合は記載するとしたため、会議の冒頭にその是非を協議した。その結果、会議録記載内容を確定前に発言者が確認することを前提として、発言者の氏名記載が承認された。

1 開 会（坂所長）

2 あいさつ

永瀬委員長，町田教育長

3 委員及び職員紹介（委員及び事務局自己紹介）

4 協議

（会議録の発言者の記載について）

協議事項に入る前に、会議録へ発言者の氏名を記載することについて協議した結果、記載内容を発言者が確認し、了承を得てから氏名を記載をすることに決した。

（1）平成29年度事業報告

事務局から資料に基づき給食の実施日数や見学会等の実施状況，栄養面や衛生面における取組状況等の報告がなされ，質疑応答が行われた。

【質疑応答】

永瀬委員長：ただ今の説明に対して，質問がある方は挙手をして，名前をおっしゃってからお願いいたします。

高梨委員：食品の安全に関して質問させていただきます。少し前に塩尻の教育長さんが守谷市で講演をしたときに，ハンバーグを見せていただいたのですが，腐食もせず，2年間悪くならないハンバーグを皆さんは食べている可能性があるんですよと言われたんです。守谷市の給食センターでは，添加物がどうなっているのか，基準があるのかをお聞きします。

黒崎栄養教諭：毎月業者から見積りをもらうときに，食品の成分の分析票をいただいております，それを確認している。確認の基準は決まっているので，基準に従ったものを使用するようにしている。

田口委員：試食会についてですが，小学校のうちは年に1回試食会を開いていただいていたのですが，中学校に入ってからそのような機会がないんです。3年の修学旅行や1年のスキー合宿のときに試食会を開くことは可能でしょうか。

黒崎栄養教諭：学校側で取りまとめていただいて申し出ていただければ給食を提供することは可能です。

戸嶋委員：給食に地場産を使う取組をしていただきたいと思います。

今現在、どれくらいの割合で地場産や外国産の野菜が使われているのかを分かる範囲で教えてください。

黒崎栄養教諭：種類にもよりますが、できるだけ地場産を使うようにしていますが、食数が多くて、まとまった量が手に入らない状況があります。そういうときは他県のものを使用したりしています。また、冷凍のブロッコリーなどは海外のものを使うこともあります。

坂所長：手元にデータが無く記憶で申し訳ありませんが、先月は県内産が50%程度で、そのうち守谷産は0.2%だったと思います。これは守谷産が小松菜とホウレンソウしかないからだと思われれます。

齋藤委員：資料として出されている栄養指導資料に数字がないのですが、あえて公表しないのですか。

黒崎栄養教諭：お配りしている栄養指導資料は、学校での放送用の資料です。これとは別について献立表というのがあるのですが、そちらには数値と材料が入っており、そちらは学校にお配りしており、ご家庭に配布されております。

齋藤委員：どのへんまでの内容が入っているのですか。

黒崎栄養教諭：材料の全てと、エネルギー、タンパク質、脂質、塩分です。

齋藤委員：今他県のもが多くて、守谷や地場産業が少ないというお話だったんですが、お米に関してはどのくらい守谷産のお米を使っていますか。

黒崎栄養教諭：100パーセントです。

鈴木委員：学校の立場から2点あります。一つは、給食は全部食べるようにという指導をしているのですが、どうしても残量が出てしまっていますが、センターではどのくらいの残量が出ていて、こんなふうにと取り組んでいただきたいという要望があれば取り組んでいきたいと思いますがいかがでしょうか。もう一つは、試食会ですが、うちの学校で遠足のときに保護者の試食会をやったところ、申出が40食くらいに対して当日来たのが20人くらいだったんですよ。つまり、20人分が残量になってしまったんですね。もしかしたら、お金が掛からないから、安易に申し込んで、当日は来ないというのが出てくるのではないのでしょうか。ですから、試食会は一食分の負担をお願いするというふうにしておけば欠席という方もいなくなるんじゃないかなと思うんですが、センターとしての考えを教えてくださいたいと思います。

坂所長：試食会のキャンセルが多いという報告は受けており、対策を考えなくてはと思っています。今まで試食会は無料だったのですが、栄養士の先生方のお話を伺うと、他市ではお金をとっているのが多いようです。守谷市の場合は一食当たり260円であり、検討はしていますが、結論にはいたっていません。そのような問題があることをこの場でお話しいただきありがたいと思います。それから残さいですが、1人当たり50グラム程度、これが6,600食なので、1回の給食で約300Kg程度となります。ただここには下処理の野菜も入っております。残飯を減らす対策ですが、例えば現在ご飯はお弁当なんですけど、これが食缶になると食べる子は多く、食べ

ない子は少なくというふうに調整がきくので、ご飯に限っては残飯を減らす期待はできますが、守谷市は委託しておりますので、業者さんには次の機械を入れ替えるタイミングで食缶方式にして欲しいというお話はしているところです。

永瀬委員長：ここでの試食会はお金を取っていたと思いますが…。

坂所長：去年までは負担をしていただいております。給食を作る際は予備食というのを必ず用意しております。年度当初はトラブルでこの予備食を使うことも多いのですが、この時期は安定しているので大丈夫だろうと見込んで、そちらを提供させていただいております。

戸嶋委員：私が勤務している学校である取組を行ったのですが、その結果、残飯がゼロになったそうです。その取組というのは、食缶から一度給食を配り、食缶の中はゼロにして、食べられる子は自分で食べられない分を食缶に戻す、戻されたものは食べたい子がおかわりをするという取組なんです。この取組で残飯はゼロになったそうです。この間テレビを見ていたら、「残すな、残すな」と言われた子が心に傷を負って PDSO を発症したという話もありますし、食べられる量を自分で決めるというやり方もありなのかなと思いました。

永瀬委員長：貴重なご意見ありがとうございました。

齋藤委員：病院もそうなんです。患者さんに栄養をしっかり取ってもらって、治療に活かしていきたいというのは病院の給食で一番大切なところであるのですが、大人になってもきれいな物はどうしても食べられないという方がいらっしゃる。量も、子どもさんほど顕著ではありませんが、私は何十年もこれだけしか食べないのよという方もいらっしゃいます。そういう方に数字で必要量を出して、無理強いをして…。昔の病院はやっていたはずですが、最近は個々の必要量にあわせて、でもその方が食べられる量を提供しようということになりますので…。今おっしゃったように、食べられる子は食べる、食べられない子は食べてもらう努力はしてもらいけれども、必要量に満たなくてもそれは仕方がないというような考え方が大切かなと思います。それと、試食会の件ですが、試食会の試食の意味を教えて欲しいのですが…。今、お金が発生するとか…。一人前をしっかりと食べて子供がおなかいっぱいになるかどうかという試食会なのか…。

永瀬委員長：どうなんなんでしょう。最初にここで試食会をやろうと言ったのは給食を食べたことがなかったからなんです。学校の試食会とはまた違いますね。

齋藤委員：お金を取るというのも一つかと思うのですが…。40人のところが半分しか来なかったということを見ると、最初から40人の必要性があるのかどうか…。味をみていただくのであれば、半分あれば味は分かる、半分食べれば全量の想定もつくと思います。ご飯の品質やかたさなどもある程度召し上がればわかると分かると思いますので…。試食会の意味も考えてもいいと思います。

古谷委員：何年か前に戸嶋さんがおっしゃったようなことを言ったことがあ

るんですね。配って、残ったら食べたい子がいるんじゃないかって……。その時は学校の先生達が、「それはできないんです。」という話だったんですが、可能なんですか。

(「やっている」の声有り)

古谷委員：そうなんですか。それならいいんです。その時は、同じようにみんなに配るのが決まりなんですというお話だったものですから。では、今は可能なんですね。

鈴木委員：うちも学年によって完食の学年があるんです。そこは、今おっしゃるように体の大きさもありますから食べたい子はたくさん食べるし、食べられない子は少なく、そういうかたちで分けるんですが、分けても残してしまう子はいるので残さいは出てしまうのですが、それでもなるべく食べられるようにということで学校ではやってもらっていますので、お話があったようなかたちを取り入れてやっていると思います。それから、試食会の件ですが、1年生の親御さんが小学校の給食が分からないということで、遠足とかの行事があった時に給食が空くのであれば食べてみましょうというのが広まっていったということだと思います。うちの学校では3年生までが試食会ということでやっているのですが、次年度からは1年生の保護者だけでもいいのではないかとということのを学校では検討しているんです。そういう部分では一食をきちんと食べてということは1年生の保護者に対してはそういうことにして、ちょっとだけ味見をしてみようというのであれば別のかたちになると思います。中学校であれば保護者の試食会の目的をもう一度諮ってから進めてもいいと思います。子どもたちが遠足で子供が食べる分だから食べてももいいでしょうという感覚もあると思います。うちには栄養士の先生がいるので、その先生から聞いたのですが、給食は総額でやりくりをしているので、その日の給食に掛からなかった分は次の時に活かすようにしているそうです。月1回のヨーグルトを付けるとか、そういう工夫を給食センターはしているそうです。それを聞いたときに、なるべく無駄な残量を無くなるように我々も学校で工夫をするようにしていきたいと考えています。それから給食を食べてみたい親御さんもいらっしゃると思いますので、後はセンターさんとの相談になると思うのですが、全額でなくても、有料化ということも校内で検討中であります。

田口委員：試食会の意義というお話がありましたが、参加する側としては、いろいろな意味を持って参加していると思います。味のことや、この学年でこの量は少ないとか、いろいろな意見が出ています。なので、参加して良かったとは思っています。それから子供が家に帰ってきて、「今日の給食はおいしかった。」「ソフトメンが一番の人気なんだよ。」とか、「パンがおいしい。」とかという話を聞くと食べてみたくなるんですね、来月もあるといいねとか、子どもとの会話も広がる、そういう意味もあると思います。それと、年に1回ですが、同学年のお母さんとランチ会のような意味

で参加される場合もあるので…。当日、例えば下の子が具合が悪くてということでお休みになる方もありもったいないことになってしまうと思いますが、年に1度くらいはそういう交流があってもいいのかなと思います。

永瀬委員長：貴重なご意見ありがとうございます。それでは、こちらの議題はこのくらいにします。それでは、協議事項1、平成29年度事業報告につきましては終わりにしまして、協議事項2、学校給食センターの建替えについてを議題といたします。

(2) 学校給食センターの改築（建替え）について

① 経緯について

事務局から資料に基づき、給食センターの調理能力と人口推計、また衛生面から施設の建替えを計画している旨の報告がなされ、質疑応答が行われた。

【質疑応答】

永瀬委員長：ただ今の事務局の説明に対して、ご質問がある方は挙手を願います。

高梨委員：現在市は、中央公民館の改修で10億8千万円、そんな中、給食センターの建替えということで、また費用が出ると思うのですが…。今年、つくばみらいの給食センターを見てきた時に、つくばみらいは今5,100食で6,500食までは可能だということだそうです。それと比較しまして、守谷市では現在6,600食ですが、どのくらいのキャパにするのかを伺います。それから費用を具体的に示していただきたいと思います。

坂所長：資料に書かれているコストはつくば市とつくばみらい市を参考にし計算したコストでございます。食数は余裕食を10%をみまして8,000食を想定しております。つくばみらい市の建設費ですが、リースで28億円と聞いております。

高梨委員：この金額は必ずかかるということですか。

坂所長：具体的な積み上げの金額ではありませんので、ご容赦願います。

高梨委員：新しく建替えても、ご飯は今までどおり委託するという事で変わらないんですか。

坂所長：ご飯は市内の業者さんに引き続きお願いしていきたいと考えております。

永瀬委員長：国に補助金を申請すると言っていましたが、どのくらい出るんですか…。期待している額は。

坂所長：期待しているのは1割程度です。ただし、国の予算の枠が決まっており、申請の件数と自治体の財政状況等々で、補助金が付かない場合がけっこうあるらしいです。県庁に行って担当者に話を聞いてきたのですが、その時には補助金が付く可能性は十分ありますよといわれましたので期待はしているのですが、その年の申請状況…。件数が多ければ困っている順に付けるらしいです。

永瀬委員長：それで1割程度ですか。あまり出ないですね。

坂所長：茨城県では土浦とかつくば、水戸など、古い給食センターは大体終わっているの、茨城県内でうちだけでしたらチャンスはあるのかなと思っております。

永瀬委員長：それで質疑を終わりにします。

② 基本計画の策定について

事務局から基本計画の策定について、教育委員会から給食センター運営委員会に諮問がされたら、書面での会議とし、答申は委員長一任でいかがでしょうかとの提案がなされた。

【質疑応答】

永瀬委員長：ただ今事務局から提案がありました。それではお諮りいたします。基本計画の作成が本運営委員会に諮問されましたら、会議は書面をもって行い、答申は私に一任していただくということでよろしいでしょうか。賛成の方は挙手を願います。

(賛成者挙手)

永瀬委員長：全員賛成です。それではそのようにしたいと思います。

③ 食器について

事務局から、建替えを期に現在使用しているランチトレイから、トレイとお皿に分かれているタイプに変更したいと考えている、サンプルを用意しているの、食器の感想をいただき、食器の変更についてを運営委員会で正式に決定していただきたいとの説明がなされた。

(黒崎栄養教諭からの補足説明)

現在の食器はトレイと食器が一体となっており食べるのが大変。また姿勢も悪くなることからトレイの上に食器がそれぞれ乗るという形に変更したい。選び方は守谷中学校と守谷小学校で実際に使用したうえで選びたいと考えている。

【質疑応答】

永瀬委員長：よく子供たちの意見を聞いて決めてください。それでは、事務局の説明のとおり、変更することよろしいでしょうか。

(「はい」の声有り)

永瀬委員長：それでは、食器につきましては新給食センターの稼働にあわせて食器の変更するようにしてください。

(3) 給食費について

事務局から、来年度は消費税が10%になることや、市の負担が増えてきている等の理由から、来年度に給食費の値上げについて提案していきたいとの説明がなされた。

永瀬委員長：来年度に議題として出されるということですね、分かりました。

(4) その他

永瀬委員長：その他として何かご意見がある方はお願いします。

① 中学校のパンの日程について

中村委員：昨年度も申し上げたのですが、中学校ですと、月曜日が5時間で部活無しでご飯なんですね。それで、たしか水曜日がパンの日なんですね。できれば、部活の無い日をパンにして欲しいのですが、難しいですか。

黒崎栄養教諭：パンを委託している業者に確認をしたのですが、前日から作り始めるということらしいのですが、前日は日曜日になるので難しいという回答をいただきました。

② 2学期制導入に伴う給食費について

戸嶋委員：来年2学期制になり、今までなら夏休みになる時期に給食があるわけですが、給食費の負担については、どう考えてますか。

坂所長：7月分の給食費で収まるので、来年度に給食費が上がるということはありません。ただ、来年度から給食提供数が増えたり消費税が上がったりするので、来年度に給食費の値上げを議題として上げさせていただきたいと思います。

永瀬委員長：それではこれで協議を終わりにいたします。

6 閉 会

※ 閉会后、当日の給食の試食会を実施